

質問

食育を推進する取り組みについて

町長

地場作物の助成を行い地産地消を進める



内田 勇 議員

育同として全国で食生活の正しい知識の普及啓発の活動が行われている。栄養の偏りや不規則な食事など、子どもから高齢者まで健全な食生活を実践するための食育を推進する取り組みが重要である。

平成17年に成立した食育基本法には、食育推進基本計画の策定が規定され、国や自治体、学校、地域などで実施する食育運動の指針となっているが、活動状況は。

健康福祉課長 平成22年3月に奥出雲町食育推進計画・平成26年3月には第2期計画を策定し、奥出雲町らしい食育の推進に関する施策を計画的に推進している。食育推進活動を5つの項目に分け、目標に沿って町内閣

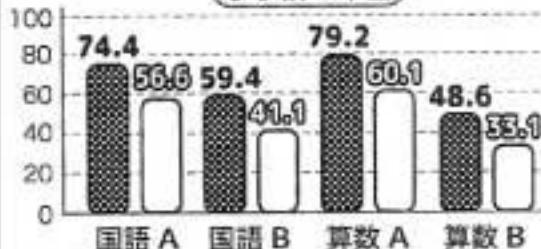
育同として全国で食生活の正しい知識の普及啓発の活動が行われている。栄養の偏りや不規則な食事など、子どもから高齢者まで健全な食生活を実践するための食育を推進する取り組みが重要である。

平成17年に成立した食育基本法には、食育推進基本計画の策定が規定され、国や自治体、学校、地域などで実施する食育運動の指針となっているが、活動状況は。

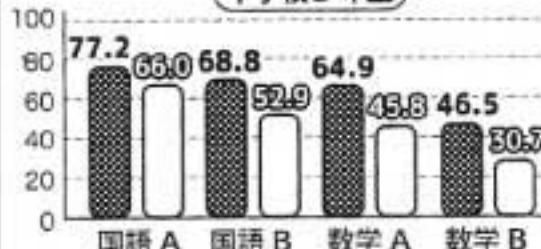
朝食摂取と学力調査の平均正答率との関係

●毎日食べている □全く食べていない

小学校6年生



中学校3年生



*文部科学省「全国学力・学習状況調査」(2016年度)

毎年6月は、食

携を図り、年2回食育推進委員会を開催して

いる。

生産者と学校給食関係者等と地元食材の活用推進や、学校や地域のイベントでの啓発、

食育展示会の開催、自

治会や公民館、学校で

の正しい知識の普及啓

発を図っている。食育

教育総務課長 朝食を

食べる町内児童生

徒の割合は、中学3年

生では100%で、全

国と比べ6.7%高い、小

学校6年生では98.9%

で3.4%高い。

学力との関連で町独

てじる。

文部科学省の調

査では毎日朝食を食べる子どもと比較して

ない子どもと比較して

学力調査の平均正答率

が高いが、町内の学力

調査の正答率は、

抑えるため、仁多米

給食費の保護者負担を

農産物の活用や、地産地消で地域経済が元気になる仕組みの構築を、

町長 学校給食では、

給食費の保護者負担を

抑えるため、仁多米

白の分析はない。

いのか、どの時期に何

が必要なのか検討し、

補助金も入れ、食育を

推進していく。

中小企業の事業継承

中小企業の事業承継に関する鳥取県西部のアンケート調査で

は半数以上が廃業予定か、後継者未決定の状

態だが、町内での後継者不足の実態と後継者

消を進める。

教育長 食育が進まない原因は、必要な野菜

の供給が難しい」とた

地域振興課長 現在商

工会で調査中であるが、

ここ3年間に廃業され

た事業所は31件で、高

齢、健康面の問題、代

表者死」、事業の先行

者がいれば廃業されなかつたと推察される。

町長 島根県では、事

業の譲渡等に対する支

援があり、町独自の創

が、何がどの程度りな

いのか、どの時期に何

が必要なのか検討し、

補助金も入れ、食育を

推進していく。